

# DOKU - GAKU 揭示

やっと始まったと思ったプロ野球も残すところあと30試合あまり。

交流戦が終わってからの阪神はあれよあれよという間に3位になり  
あれよあれよという間に1位に昇り詰める、はずだったんだけどなあ・・・。

まああんまり順調にいきすぎるのも怖いものがあるしで  
このくらいのペースでじわじわいくのがほどよいかも。

高校野球に奪われていた甲子園も帰ってきたし

これからHOME・甲子園で大躍進しちゃう予定。にここに。

そして今シーズンは待ちに待った、未来の4番、若虎・桜井が公式戦に初登場！

待ってましたよ、4年前から。ユニフォーム作ってね。

苦節6年。大器の噂は嘘じゃなかった。

三番鳥谷、4番桜井、5番林のクリーンアップを見る日も近い。楽しみ。にここに。



特注ユニフォームですよ。

## がみっこ

DG 編集委員会のみなさまへ

楽しみにしていた DG、今日（ってこんな時間だから正確には昨日）、無事届きました。

Cacco さんの『おすすめ春樹作品』、とっても参考になります！

明日、早速、渋谷の BOOK 1st に行ってみましょう～

Tica さんの浜省コンサート報告も、GOOD！！

そして、ビーズもすばらしい！思わずボクもストラップが欲しくなったりして・・・

（最近、うちのもビーズにかなりはまってるんですよ。でも、Tica さんレベルには、まだしばらくかかりそうですね。）

うさおさんのトマソン隊も、マニアックさがいいですね。

それにしても、ミスチルのツアートラック模型は、すごい！！

かつて、建築模型に凝りまくった？うさおさんの本領発揮ですね。

DG、またしばらく楽しみが増えました。ありがとうございました。では、(-\_-)zzz

## うさお

### 企画「夢のトランク」 担当TICA

夢のトランクと言うと以前、親父が持ってた皮製のトランクを思い出す。隅に頑固な金具が打ってあり、怪人二十面相のイメージがふつふつとするあれだ。あの古めかしい図柄。小林秀恒や梁川剛一の世界だ。昔ながらの手品師がその中から美女を取り出すような、そんなトランクだ。皆さんのトランクは明るすぎる。おどろおどろしさが無い。

余談だが、初代引田天功はスマートな欧米的なハンドマジックを行う人であったが、後年脱出イリュージョンに目覚め、一世を風靡した。2代目引田天功はこの怪しくも大正、昭和の匂いを紛々とさせている手品師だ。トランクと如何つながるのだ？ そうそう、その初代の引田天功の親父さんと、うちの親父とは会社で一緒だったんだとき。



### タツオト・リレー企画「奇妙な夢」 TICA

昔、シナリオライターを目指した TICA さんは、ストーリーの切替が上手だ。が、「奇妙な夢」と「夢のトランク」に比して内容が暗いイメージがあるぞ。

鈴木光司の「灰暗い水の底から」を思い出すのは何故。怖いから！

松岡圭祐の「催眠」にも通じるようだ。あっそう言えば、彼の作品にマジシャン・シリーズがあった。

なあんだ。手品師つながりかあ。

### 17文字の抒情詩 yuko

宗匠には買い被られているようなので心苦しいなあ。健ちゃんのようにじっくり推敲するタイプの人間ではないので、思いつきで出来ちゃうと、「あっ、これでいいや」って感じ。って言うかあ、推敲すればするほど出来が悪くなるんだよ。まっ、それは「トマソン隊」を読んでいれば判っちゃうか。

あまり感情を入れて俳句るのが得意じゃないので、宗匠に褒められる句は本当に僅かしかない。健ちゃん、賞、獲っちゃっていいなあ。

それでいてパソコンで句集でも作っちゃおうかなって考えちゃうところが、うさおの偉いところ。ありあとやんした〜。宗匠。これからもお見捨てなきよう・・・。

### SHOGO HAMADA ON THE ROAD 2006-2007 My FirstLove is Rock'n Roll TICA

みんな好きだねえ。未だに「追っかけ」してるなんて。それにしても最近のアーティストたちは、ステージに凝り過ぎるのか、ツアー・トラックに一切合財積み込んで地方を廻るのね。昔の田畑義男なんか、ほとんど、どさ廻りの演劇集団のようだったさ。身一つでもステージが務まるってなもので、前夜の酒が残りながらの独演会。あれ、浜省もそうかな。広島の人はお酒強そうだし。でもあれだけのツアー・トラックに積んで行かなければならないステージ・セットって何だあ。イリュージョンかあ？ 確かに中島みゆきさんなんかだと、演劇仕立てで凄そうだけどね。



### ミスチルばがぼんど Cacco

ほうら、浜省のツアー・トラックが出ちゃったから、Cacco が、燃えちゃったよ。いつの頃からか、ツアー・トラックと一緒に写真（桜井と一緒にじゃないのね！）を撮りだして、悦に入っていました。そのうちミニチュアのトラックを買ってきて、ぺたぺた色を塗り替えて、貼付シールにプリントして作ってました……。とこういう時は熱心なんですよ。

自分で仕舞ったものなんかを探すのは、不熱心で「何処いったか分んな〜い」で終わっちゃうんだよ。意味分んねえ〜。

### 好奇心漫遊記 理科編—4 矢澤洋爾

公園には藤棚があるところが多いですよ。家のほうにもあります。さすが矢澤さん、足利まで藤だけを見に行っただけのも凄いけど、その後それを補填するかのようになり、西多摩「大久野」に赴いたり箱根「強羅」にも出かけちゃうとこ。うさおの先祖と言われているのが、藤原秀郷(倭藤太;蝦夷藤原と呼ばれる地方豪族だった)、深谷のお爺ちゃんのお墓には「藤原の朝臣」と彫られているらしい。藤が蛇に通じるなんて蘊蓄は儲けちゃったような気がする。これも余談ですけど、藤原藤太秀郷は瀬田の唐橋で大蛇に姿を変えた琵琶湖の龍神姫から、三上山の百足退治を懇願された。藤太は最後の矢に唾をつけ大百足を退治した。(汚いなあ) ほら、藤が二回と大蛇一匹。

### テレカコレクション 健

ライバル健ちゃんのテレコレ。ライバルと思っているのは、テレコレが31回にもなりトマソン隊と鼻の差になってきたこと。俳句の投稿句数もあるが、俳句はすでに質的に負けているので、トマソンの投稿回数で競うことにしよう。

今回のテーマはタバコ。これがおかしい。タバコを買ったときの景品ならライターかマッチだろうがよ。電話ボックス(死語)の中でテレカを出したらタバコの文字が。あの狭い空間の中で吸いたくなっちゃうだろうがよ。後述でマッチについても述べているが、こちらはタバコっぽいデザインのマッチが多い。さて毎回お頼みしていることだが、テレカの現在評価額を知りたいのだ。森高さんのは一律4000円位だったよ。

### ビーズな毎日 YUKA & TICA

最近 YUKA さんの作品が無いので少し寂しい。やはり鯨かシャチのビーズを作って貰いたいものだなあ。特にミッキーの時のように三次元ビーズがよろしいね。(精密に作ろうとするとやはり1m位の大きさは必要か?ビーズ模型と言う新しい範疇か?)

さて、最近はビーズで何やら具体的な絵やロゴを作るのが流行っているのかな。TICA さんも自作したが、なかなか使いたい浜省のドット絵というもの現れてこない。桜井がやっとなんですよ。(自分で作りゃいいんですけど、難しいんだ、これが)指で作るものはやはり才能が必要だな。

### Mr.Children

祝☆デビュー15周年



分り易い加藤藤紋





## 心理学シリーズ 人間嫌い編<その5> タツノオトシゴ

いよいよ、うさおの嫌いな人間の感情の襲ってやつの恋愛編です。感情を表に出すのが下手なうさおは、恋愛感情を出すのも凄く下手です。馴れだよ！馴れ！って言う方もいますが、いやあ、ありゃあ馴れねえぞ！しかし、この講義はタツノ先生との恋愛自慢話になっているような気がしますけど。課外授業だからいいのかな。お弁当でも食べちゃうか。



### ケータイシャシンカン TICA

だんだん TICAさんと矢澤さんの呼吸が合ってきたぞ。って言うか、トマソン隊がどんどん本筋から離れていってしまい鉄ちゃんお宅や、遺跡お宅になっちゃたので、逆にお二方が町の面白テーマを極めているって感じです。



鉄道屋さんは、昔から〇〇方面というのを〇〇方(かた)と表記します。口頭連絡で報告するときに分りが良い所為でしょうか。例えば海老名方は「エビカタ」、横浜方は「ハマカタ」と称します。そんな専門用語がつい出っちゃたんでしょうね。

### あれ！トマソン隊じゃあ無いのか うさお

もちろん、トマソン隊じゃありませんよ。立派な遺跡探訪です。前から喉に鯛の小骨が刺さっているような(鯛なんて年に1回も食べたことはないなあ)そんな気がしていたのですが、昔見た記憶のある高射砲の砲台跡を探たくて、グーグル・アース(これ本当にこう発音するのかなあ。グルグル・アースって発音する人もいるのだが、疑問だ)を探していました。それらしい跡があったので、だめもとで出かけたから見つけました。掩灯所は近くの人に聞いた儲けもの。超、有名だったようだが。

### 表紙は語る Cacco

これは桜の葉の味わい深さに尽きる。微妙に虫食いのところが、自然造詣の妙味だ。最近の表紙はモチーフがバクリものが多いのだが、まあこの位(詩を載せちゃうこと)は許せるでしょう。でも、桜井の写真をこんなに出しちゃまずいでしょ。ホームページはまずいけど、ブログならいいんだよねってだめだと思いが……。ミクシーだってだめだと思いが、いまやwebの中は無法地帯、うさおにとっては有難いこっです。



桜餅

### 小説 東京鬼ごっこ yuko

加奈という娘はおかつぱ頭と言うことで、岸田劉生の「麗子像」を思い出、なにやらおどおどろしいものを感じていた。イメージは白い肌に黒目がちの吸い込まれるような大きな瞳、首筋辺りまでのおかつぱ頭、暗い路地の奥を滑るように走る・・・これは絶対、ホラーだと思った。妻からのいきなりの絶縁状、一人で居られると思う気持ちと裏腹に夜の闇に不安が滲む。鈴木光司だよな。



しかし、展開はそれほど怖くはなく、ラブクラフト風に進んでいく。和風ゴシックロマンが比較的淡々と語られていく。

途中で気が付いたのだが、これは恋愛小説じゃないか。妻を愛していたことを自覚する旅(誰だって判っているって)。

でも衝撃的な体験はもっとねちっこく書いても良いのでは。「そうだったんだ～あ！」って頭を揺

き筆るくらいでも・・・面白かったけど・・・。記憶は加奈の自殺だったんだけど、その事実を忘れたいほどの加奈への殺意が、とかなんとか……。如何だろうか？（どうしてもミステリーかホラーにしたいうさお）

これはタツオトさんや YUKA ちゃんの得意とするトラウマ恋愛の分野。もっと癖があっても面白いかも。

加奈はラブクラフトの言葉を借りると、「其は永久に横たわる死者にあらねど、測り知れざる永劫のもとに死を超ゆるもの」であるね。



## TICA

私の夢物語のお話を下書きの段階でお友達に読んでもらったら、意味がわからないって言われたので y u k a ちゃんにもお尋ねしてみました。

### 《y u k a》

意味、わかるよ。

お友達はどこがなにがわからなかったって?? 1P 目の終わりで、これは彼女の回顧だなんて思ったよ。で、最後まで読んで（このメール送るためにもっかい読んだぞ）

この女は現在生きているのか、死んでいるのか、とは思った。生きて自殺未遂して一命を取り留めたあとの回顧かと思ったけど、途中で『動こうとしない身体を無理に地面から剥がして……』大丈夫だというでしょ。だから死んだあとの魂が回顧してて、大丈夫=死ぬことは恐くない、なのかな?とか。でも、それは読む人の解釈でいいのだと思って。

実はわたしはそういう読み手の想像をかきたてるようなものが好き。

なので、わからない、とは思わなかったぞ。

次回企画お知らせです。

次回企画は『**お友達紹介**』です。私にはこんな友達がいる!というお話をしてください。変わった性格の友達、頑張ってる友達、こんな関係でも友達?っていうのまで色々なお友達を紹介してください。なお、今回は**8周年記念号**です。

久しぶりに**アンケート特集**をするので、みんなに答えてもらいたいことを募集します。

いつにも増した意気込みで次号もよろしく!!

2007年8月31日発行

発行人 読書を楽しむ会

印刷・製本

c's 工房 &

M's factory